

第44号

平成30年 7月 1日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(広報記録専門部)

# とよつだより

## 第36回北浦一周サイクリング



於：潮来市 白鳥の里

北浦浄化キャンペーン  
五月十二日(土)恒例の北浦一周サイクリングが催されました。  
今年度は例年より児童の参加者が多く、賑やかに行われました。(関連記事 二面)

しました沢畑好一です。よろしくお願ひします。心地よい風が北浦を渡り、自己啓発のために何かを始めるとは最適な季節になりました。自分に合ったやり方で、スポーツ・文化活動、趣味・レクリエーション活動、ボランティア活動などチャレンジしてみましよう。

まちづくりセンターの職員は、様々な活動にチャレンジする皆さんを笑顔でお待ちしています。また皆さんが気持ちよく活動できるようにサポートしていきます。



沢畑新センター長  
着任あいさつ

本年四月から、



今年度もよろしくお願いします  
まちづくり委員会 和田勉委員長

豊津まちづくり委員会も総会が無事終了し、スムーズにスタートいたしました。特に、役員の大きな入れ替わりもなく、継続して活動していただけることに大変感謝申し上げます。  
本年は、『地域が元気になるため』に何をしなければならぬかを目的として、活動していきたいと思っております。何卒、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。



高安前センター長  
退任あいさつ

七夕の候、水田の風景も、一段と

美しい季節となりました。さて、私 高安広子は、三月三十一日を以て、豊津まちづくりセンター長を退任いたしました。  
在任中は長きに渡り皆様に大変お世話様になり、ありがとうございました。どうぞございました。

住民主体の「まちづくり」と言う名のもとに、多くの方々の惜しみないご尽力を賜り、数々の事業を実施してまいりました。その積み重ねの歳月の中で、老若男女、幅広い層の皆様との連携から大切な「絆」も育まれたのではないのでしょうか。  
これからは、微力ながら地域に恩返しできればと思っております。重ね重ね、ありがとうございました。

北浦一周  
サイクリング  
☆36th



Photographs



**サイクリングコース**  
 公民館…一の鳥居…森の稲荷様…堤防…  
 セイコーマート中店(休憩)…北浦大橋…  
 白浜ウォーキングセンター…白浜少年自然  
 の家(昼食)…堤防…白鳥の里…堤防…  
 神宮橋…公民館

**写真説明**  
 ①北浦大橋を渡り終える ②北浦湖畔を走る  
 ③白浜少年自然の家の坂道を押して上る。  
 ④六年間完走者表彰  
 (左)6年生 浅間 梓名(あずな)さん  
 (中)6年生 山町 詩音(しおん)さん  
 これから期待します賞  
 (右)2年生 山町 彩奈(さな)さん  
 ⑤箕輪さん(サイクリングの産みの親)講評  
 ⑥一の鳥居の前で記念写真  
 ⑦サイクリングの安全を守るバイク隊



### 白熱した(?) 熱戦が展開

5月13日(日)、リニューアルオープンしたばかりのト伝の郷運動公園で、今年度のソフトボール大会が行われました。

2つのグラウンドで3チームずつのリーグ戦を行い、それぞれの1位チームで決勝戦を行いました。(結果は、以下のとおり)

老若男女入り交じり、笑い声が聞こえながらも、みんな必死の形相でボールを追いかけました。皆さん、お疲れ様でした。

#### <結果>

- 優勝 大船津第2区
- 準優勝 爪木A



### 楽学セミナー

6月9日(土)

#### 第1回やさしいデジカメ講座

～写真撮影を楽しむために～

沢畑新館長が自ら講師になり、デジカメ講座を開催しました。館長は趣味がカメラ撮影ということで腕前はセミプロ級(自称)です。

講座の前半では、館長手作りの冊子でカメラのいろはを学びました。後半は、各自持参したカメラで紫陽花を撮り、ベストな一枚をプリントして出来栄を比べ合いました。



最終目標は、とよつまつりの写真展へ出展することです。みんな、きばいもんぞ!



きばいもんぞ = 鹿児島弁で『がんばります』

#### 「地域サロン」に参加してみませんか?

豊津地区社会福祉協議会(うらら会)が主催し、豊津地区まちづくり委員会が協力する『地域サロン』が今年で二年目に入りました。地域の皆さんの「仲間づくり」・「出会いの場づくり」・「健康づくり」を目指して開催しています。おしゃべり、歌、体操、お茶っこなど、思い思いに楽しいひと時を過ごしませんか。



★友結サロン(豊津まちづくりセンター) 開催日時など、詳しくは豊津まちづくりセンターへお問い合わせください。

#### ★高齢者スポーツ大会

##### 各部門優勝者

- ・クロッケーの部 大船津B(郡司みよ子さん)
- ・大川みささん、藤枝洋子さん
- ・グラウンドゴルフの部 黒須はるさん(大船津)
- ・輪投げの部 君和田美佐子さん(爪木)

5月30日(水)開催



#### かるためぐりシリーズ②



絵札描く 豊津小のこどもたち

この札は、正月恒例のとよつかるた大会で、いつもお手付きをさせるために読まれることが多い札として、覚えている人も多いかと思えます。

でも中には「ゑ」って何で読むの? という人もいるかもしれませんので解説しますと、「え」と読みます。辞書によると、『「恵」の草体であり、古くは「え」と発音上区別があったが、のち、両者は発音上の区別がなくなった。』とあります。

「英霊の 御霊鎮めん 忠魂碑」が、同じ発音の「え」で始まりますので、ちやんと聞いてから取らないとお手付きになります。とよつかるた大会に出る人は良く覚えておきましょう。

この「絵札」とは、とよつかるたの絵札で、平成十六年度にとよつ親子かるた編集委員が作成したとよつかるたの読み札に合わせ、豊津小のこどもたちが絵札を描いた様子を読んだものです。ひらがなは全部で四十八文字ありますが、とよつかるたには「ゐ」と「ん」を除いた四十六枚の絵札があります。生徒数が少ない豊津小の子どもたちが良くこれだけの枚数をかけたものだと改めて感心します。

### 平成30年度の 区長さんです



よろしくお願ひします。

後列中  
＜大船津第1区＞  
和出 健二さん

後列左  
＜大船津第2区＞  
小室 富保さん

前列左  
＜大船津第3区＞  
海老澤 惠次さん

後列右  
＜大船津新田区＞  
宮崎 義和さん

前列右  
＜爪木区＞  
君和田 一之助さん

### 子育て支援 (びよびよ応援隊)

5月17日(木)親子リトミックが豊津公民館和室にて開催されました。参加者は、保護者4名と幼児4名の8名でした。

講師の谷藤先生、長原先生の指導のもと、楽しく和やかな時間が流れ、微笑ましいリトミック体験となりました。次回の7月19日も楽しみです。♪



### (田植え体験)



## とよつキッズ

五月二日(水) 高安さん(前センター長)の水田で、豊津小五・六年生が田植えを体験しました。

参加者二十四名は、慣れない田んぼのどろんこに、ズボンをまくり素足になり準備万端。美味しいお米に育つ命の芽(苗)を、大切かつ丁寧に植えました。秋の収穫が楽しみです。一人一人の児童にとって貴重な体験になったことと思います。

### リトルファーム(夏野菜 トウモロコシ・枝豆)

五月二十六日(土) 参加した三十七名の子どもたちは、楽しい収穫を想像しながら肥料振りや、夏野菜の種まきをしました。作業後のカレーは格別の味だったようです。



### 今年度のまちづくりセンターです。

ご協力ありがとうございます。

今年度の職員は、新しく沢畑好一(よしかず)センター長(大船津)が就任、市の地域活動支援員が大川悟(新田)(昨年度までは今泉富司さん)に替わりました。

主事の藤城知子、黒須ゆき、遠藤和子そして地域福祉推進員の笹本恵子の女性陣に変更はありません。みんな笑顔でお待ちしております。ですので、ぜひ、まちづくりセンター(公民館)へ気軽に立ち寄りください。



### つぶやき

企業の不祥事や政財界の隠いだけでなく、スポーツ界まで真実を隠そうとするこの時世。唯一の救いはアメフト部員の告白です。犯した過ちは消えませんが、勇気ある決意行動と思います。今は何でもあやふやにして長いものに巻かれてしまふことが多いですが、自分の信念・誠実・正直さを貫くことが大事です。(は)

第45号

平成30年11月15日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(広報記録専門部)

# とよつだより

## 第13回 ~豊津の輪 笑顔をつなぐ 運動会~ とよつふれあい運動会

10月13日(土)



区対抗リレー 各地区の健脚自慢が激戦を繰り広げました!

肌寒く、時折雨粒が落ちてくるといったあいにくの天気でしたが、みんなの頑張りで無事最後の種目まで終えることができました。  
例年どおり前半は小学生の種目を中心に、午後からは地区住民が参加できる種目を行いました。  
豊津小の子どもたちが一生懸命に競技する姿、地区対抗種目で繰り広げられる抜きつ抜かれつの接戦に、観覧席から大きな声援が送られていました。  
最終的には優勝した地区から六位の地区まで順位がつけられましたが、どの地区も競技後の笑顔が一番でした。

総合順位	優勝	大船津第一区
優二	三位	新田区
三	位	大船津第二区
玉入れ	優勝	大船津第二区
優二	三位	新田区
三	位	爪木B
綱引き	優勝	大船津第一区
優二	三位	新田区
三	位	大船津第二区
地区対抗リレー	優勝	大船津第一区
優二	三位	新田区
三	位	大船津第三区

副大会長 和田 勉(委員長)  
今年、実行委員会を開催した九月十一日に茨城新聞に『地域で楽しめる運動会』と題した紹介記事が掲載されました。とよつふれあい運動会は、豊津小の子ども達の活躍を地域の人たちが一堂に集まり見守りに行く日です。当日はとても寒い中ではありましたが、無事開催が出来ました。四世代の家族も参加して楽しい運動会でした。これからも、子ども達には地域の私たちに元氣と感動をたくさん与えて欲しいと願っております。



とよつふれあい運動会を終えて  
大会長 平賀康意(豊津小校長)  
十三回目を数える「とよつふれあい運動会」が多数のご来賓を迎えて、盛大に挙行できました。多くの方に支えられ運営される運動会で、本校児童も地域の方々も楽しく活動できました。今回は、テレビの撮影もあり、学校と地域が一体となって楽しんでいるこの豊津地区の運動会が日本中の人たちに少しでも知ってもらえることをうれしく思います。今後も学校と地域の協力により、未永く続けたい行事です。



紅白対抗リレー



組体操2018  
キマッタ!!



いざ勝負!豊津秋  
の陣(棒引き)

寒かったけどHotな一日  
**運動会の一コマ**

おぼけのQちゃん



妖怪退治  
だ!

今年も大暴れ!  
山町じいちゃん

**少数精鋭 豊津の子**



**五輪でリンリン**  
東京オリンピック2020  
サッカー開催地として、五  
輪にちなんだ種目を採用。  
自転車の輪(リム)回し



負けずにゴール



おしりで椅子ドン  
ケツ圧で勝負!



ト伝新当流  
お突きー!!



クイズチャンピオン  
優勝者は郡司さん



どうぶつにへんしーん  
何に変身しても可愛い



地区対抗種目 (左から) **玉入れ**・**綱引き**・**リレー**



テレビ東京が取材に  
「世界!ニッポン行きたい人応援団」で放映予定です。  
11月19日(月)18時55分から(地上波7チャンネル)

### 身近な薬を再勉強！

7月24日、28名の参加の下、『お薬の豆知識』をテーマに高齢者教室を開催しました。



講師の石神修さん（与一薬局・薬剤師）から、薬との上手な付き合い方に加え、薬の処方時だけではなく、薬に関して少しでも疑問に感じたら気軽に相談してほしい、と健康管理のパートナーとしての薬剤師との付き合い方も教えてもらいました。

<感想>

- ・わかりやすくてよかった。（大船津・坂本さん）
- ・あらためて薬との付き合い方を教えていただきました。（大船津・黒須さん）

### 子育て支援 元気に活動中

9月20日、今年度3回目の子育て支援～親子リトミック～を開催しました。



豊津まちづくりセンターでの「親子リトミック」も定着し、今回は9組の親子が参加しました。音楽に合わせたリズム体操の他に、ウレタン製の円柱の遊具も子どもたちには好評で、和室いっぱい可愛い声が響き渡っていました。



今年度は、11月が最後の開催になります。来年度も、多くの親子の参加をお待ちしています。

### とよつキッズ

#### ホタル学習会・見学会

七月七日（土）、豊津まちづくりセンターで、ホタル学習会・見学会を開催しました。今年も、子どもも四十八名、大人四十名と多くの方が参加してくれました。

#### 移動教室

八月二十二日（水）に千葉市科学館へ二十名（子ども九名・大人十一名）で行って来ました。

科学館では、月の重力を体験。地球と違い、月だどちよつと跳ねても大ジャンプ。面白体験でした。

#### 参加者感想



- ・普通に歩いているのに月だと大ジャンプになることを体験しました。楽しかった。 鬼澤 佑輔くん 4年
- ・プラネタリウムの中で、皆既日食が見ることができました。 飛田 悠翔くん 5年
- ・目や耳の錯覚を利用して音や光の不思議な現象を体験できるコーナーが楽しかった。 松本 琥太郎くん 5年
- ・床に寝ているいろいろな姿勢をとると、壁に登って見えるコーナーがとても楽しかった。 郡司 ゆあさん 2年
- ・プラネタリウムでいろいろな星があることを知りました。良かったです。 菅原 柚希くん 2年
- ・プラネタリウムの中でポケモンが登場するのが、うれしかったです。 中村 綾乃さん 2年

#### 収穫祭

八月五日（日）、リトルファームで採れた野菜をいただく収穫祭が行われました。皆たわわに実った枝豆とトウモロコシ。皆で収穫し、調理して美味しくいただきました。ごちそうさまでした。



▲ 収穫祭の様子



▲ 楽しく学んできました



#### かるためぐりシリーズ ⑳



きよしきり  
水神社

よしきり  
川 岸 さわく

明治四十三年八月、梅雨前線と二つの台風が重なったことから、豪雨により河川の氾濫がおき、（当時の）東日本の一府十五県で大洪水が発生しました。霞ヶ浦でも大洪水が発生したことから、大洪水の再発を畏（おそ）れ、水の安全を願い、全国的に水神宮が祀られました。ここ豊津地区は、水の郷であることから、新田・大船津・爪木に幾つかの水神宮があります。

「よしきり」とは、スズメ目ヨシキリ科ヨシキリ属の鳥の総称で、一般的にオオシキリのことを指します。中国南部から夏鳥として飛来する渡り鳥です。「ギョギョシ、ギョギョシ」という鳴き声から、「行々子」という字をあてられてもいますが、オオヨシキリという名前は、葦（よし）を切り裂いて中にいる獲物を捕食することに由来しています。川面に生えた葦の間から聞こえる騒がしいヨシキリの鳴き声と、静かに水の安全を見守る水神宮が醸し出すコントラスト。葦が川岸にほとんど見られなくなつた今となっては、懐かしい夏の一コマとなつてしまいました。

休みの日に、この豊津地区のどこに水神宮があるのか、何か所あるのか、散策してみるのも良いですね。



### 消消？ ストレス解消大会

今年度1回目のスポーツ健康教室として、9月30日、チェリオボウルでボウリング大会を実施しました。

昨年度に引き続き2回目の開催となる今回は、18人の参加がありました。

マイボールをきれいなフォームで操る方、力任せに投げ方、腰を痛めないようにやんわりと投げ方などいろいろ。後半は疲れてしまった方もいましたが、2ゲームを楽しみました。

最後には全員に賞品が手渡され、「来年度ともぜひやりたい！」という声が多く聞かれました。



### 豊津地区敬老会

九月二十三日 場所…新仲家

これまで地域づくりにご尽力をいただいた高齢の方々感謝すると共に、高齢者福祉に対する関心と理解を深めることを目的に今年度も敬老会を開催しました。

今年度の敬老会の対象者は平成三十一年四月一日で七五歳以上になる方で、豊津地区には二五二人の方がいます。その内米寿の方が十一人、喜寿の方が十八人で、式典の中で記念品を贈呈しました。

前半の式典の後、後半は歌や踊りが披露され、出席された高齢者の方々は楽しいひと時を過ごされました。



▲今年度から新たに敬老会の対象となった方々

### やさしい介護講座①(実技)・②(講演)

七月七日、七月二十一日の二回に分けて、豊津まちづくりセンターで介護講座が行われました。

七日は実技の講座で、十九名参加でした。

内容は、車いすの操作、ベッドの上での体の動かし方や移動の方法、便利な福祉用具の使い方を学びました。

#### \*参加者の感想\*

ちよつとしたコツで介護がしやすくなることを知り、とても勉強になりました。

二十一日は講演で、十二名の参加でした。

かしま西地域包括支援センター主任介護支援専門員の石原進一さんから、介護保険制度の仕組み(サービスマイルの手順・制度改正のポイント等)を教えてくださいました。

今の超高齢社会では、不可欠な知識です。介護する側も介護される側も前もって知っていることで、その立場になった時に慌てずに対処できるのではないのでしょうか。

#### \*参加者の感想\*

介護は、あまりにも現実的で身近な事だと実感しました。



### 暑かったけど 高尾山最高

#### 豊津ハイキング

うだるような暑さが続く中、一服の涼を求めて、七月十五日、高尾山(東京都八王子市)へ行ってきました。

参加した二十三人は、滝のように流れる汗を拭き、こまめに水分を取りながら、自分のペースで山頂を目指しました。残念ながら、山頂からの見晴らしは良くありませんでしたが、集合写真の素晴らしい笑顔は、皆さんの達成感を物語っていますね。お疲れ様でした。



★つぶやき★ 今年は、日本各地で最高気温の記録更新、地震や台風・大雨など自然災害が多くありました。他人事ではありません。自分も少し危機感をもって、今一度ハザードマップの確認、食料品の備えの再確認をしようと思います。来年は平成最後の年。『地平天成』に過ぎ、無事新しい元号を迎えられるといいですね。(H)



第46号

平成31年 3月 1日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(広報記録専門部)

# とよつだより

## 第14回 とよつ かるた大会



招来の名人・クイーン目指し

一月二十七日、今年も元気な声が公民館に響き渡りました。十四回目となる正月恒例の「とよつかるた大会」です。

今回は特に豊津小学校児童の参加率が高く、全校生徒六十一人の学校から四十二人も参加がありました。幼児、一般の大人、シニアの方々の参加者を含めると五十八人になり、最近では最もにぎやかなかるた大会となりました。

かるたで競った後は、みんなで仲良く餅つきをして、お雑煮などでお腹をいっぱいにし、紅白の花餅の飾り付けをしました。  
(優勝者は二面で紹介しています。)



豊津小の児童たち



杵、臼での餅つき



大判かるた取り



シニアの皆さん



花餅飾り

かるた大会  
優勝者紹介

幼児の部  
君和田 琴ちゃん



優勝コメント  
「うれしかった！」

低学年の部  
山町 彩奈さん



優勝コメント  
「今年も勝てて良かった」

中学年の部  
木村 友香さん



優勝コメント  
「来年も一位を取りたい」

高学年の部  
君和田 茉歩さん



優勝コメント  
「一位を取れて良かった」

一般の部  
山町 未来さん



優勝コメント  
「一位を取れてうれしいです」

シニアの部  
君和田 美智子さん



優勝コメント  
「このかるた大会を生きがいとして頑張っています」

一人で五連覇

『ふれあい クリスマス会』 (COUNCIL)

十二月十四日、地区の高齢者三十一名を招いて、うらら会(豊津地区社協)による、恒例の『ふれあい クリスマス会』が開かれました。大船津保育園年長組園児のかわいらしい演技、豊津小児童の合唱、交通安全母の会の講話、語り部の会による民話の披露、その後の美味しい煮込みハンバーグの昼食と、参加された方々は大いに堪能されたようでした。  
この催しに三十九人の方々にボランティアで関わっていただき、『豊津の力』を改めて感じました。皆さん、ありがとうございました。  
(参加者の声)  
・かわいい園児のお遊戯や小学生の歌声を聴き、楽しい一日でした。  
・語り部の会の話は楽しかったです。



高齢者教室(移動教室)

十二月五日(水)  
地区の高齢者二十六名が、茨城県警察本部、タカノフーズ納豆工場・博物館を見学してきました。

県警では、ニセ電話詐欺防止の歌を歌唱体験し、その様子が茨城新聞に掲載されました。



詐欺防止の歌  
もしもしあちやんち  
やんばあちやんち  
おれだよおれだよ  
よわかるとらう振り  
お金を送って振り  
込んで詐欺です  
ダメダメ詐欺です  
ニセ電話詐欺です  
の替え歌です



# とよつまつり 賑やかに 開催



← 今年が目玉作品は『ネコバス』でした！

十一月十八日、『第二十三回とよつまつり』が開かれました。当日は好天に恵まれ、豊津地区は元より地区外からも、子どもから高齢者まで多くの方々が訪れ大盛況でした。館内には、公民館で活動するクラブの皆さんや豊津小児童の素敵な作品が展示され、称賛の目が注がれていました。また、今回から館内に移行した芸能発表では、恒例の大正琴、ギターの演奏、ダンスやコーラス



等の発表の他、初めて豊津小児童の合唱が披露され、大きな拍手が送られました。また館外には、様々な模擬店が並び、カレーやお餅などの食物や「豊津の八百屋」の新鮮な野菜が安く売られ、多くのお客さんで賑わっていました。飲食スペースでは

世代を超えて歓談しながら舌鼓を打つといった微笑ましい光景が見受けられました。会場で来訪者の目を引いた大きなオブジェ『ネコバス』。「でんえん」の皆さんが大変な努力を費やして制作しました。制作に関わった方々、本



日本の味 醤油を学びました 〓男の料理〓

十二月九日、キッコーマンもの知りしようゆ館(千葉県野田市)とアサヒビール茨城工場(守谷市)で「男の料理」移動研修を行いました。二十人の参加でしたが、しようゆ館では、ビデオ視聴や蔵・工場の見学を、ビール工場ではビデオ視聴後に工場見学、お楽しみの試飲を満喫してきました。

(参加者の声)
・あつという間の一日で、楽しかったです。
・醤油工場の見学は初めてでしたが、満足しました。
・ビール、美味しかったです!



華やかに正月を迎える準備 〓楽学セミナー〓

十二月二十七日、年末恒例の「楽学セミナー」フラワーアレンジメントとお正月を彩る花々を行いました。

先生から、正面から見た時の花材の高さなどのアドバイスを受け、参加者十人それぞれに個性的な作品を仕上げました。力作を家庭に飾り、きつと華やかなお正月になったことでしょう。

(参加者の声)
・花の配置により仕上がりが異なり、奥の深さをあらためて思いました。



かるためぐりシリーズ ②



み 神輿
か っ っ い っ て
雨 乞 い 天 神

爪木田園都市センター入口の右側に鎮座する「天神社」(別名・雨乞い天神)は、もともと鶴来山鹿王院と呼ばれ、下生地区にあつたものが、寺の移転とともに爪木に移つたと言われています。

昭和初期までは、日照りが続くと、若者たちは神輿を担ぎ出し、北浦で揉み、雨乞いをしたと言われています。

天神信仰は、神様と崇められた菅原道真公の神霊に対する信仰をいいます。道真公が左遷された大宰府(福岡県)で亡くなつた後、天変地異、自然災害が次々と起こつたことから、道真公の怨霊の仕業ではないかとの噂が広まり、後に水田耕作に必要な雨と水をもたらす雷神(天神)として、広く全国に崇敬されたそうです。

やがて、道真公の学問に対する偉大な実績から、「学問の神」と崇められるようになり、全国津々浦々に天神様天満宮として建立され、今に至っています。



地域支援事業「でんえん」の取組

今年度は、2020東京五輪で本市がサッカー会場となることから、訪日外国人に対する『おもてなし英会話』講座を計画しました。結局講師となる市内在住の外国人の方がなかなか見つからず、一回しか開催ができませんでした。五輪の機運醸成に少しは役立ったのではないかと感じています。

また、とよつまつりに於いて『ネコバス』を制作しました。この作品は大好評で、まつりの後も、市内外から親子の見学者が沢山いらつしやいました。



ソフトバレーボール大会

十一月二十五日(日)

優勝 大船津B
準優勝 大船津A

豊津小の教員チームを含む六チームが参加、楽しく盛り上がったソフトバレー大会でした。

順位は付けたものの、勝敗とは別に「健康ファースト」を身体感できたり一日と



◆◆つばやき◆◆
今年、五月一日に新天皇即位、改元、更に茨城ゆめ国体と、色々忙しい年になります。新しい元号を迎え心機一転スタートしましょう。
(H)
昨年のとよつふれあい運動会を取材したテレビ東京の番組「世界!ニッポン行きたい人応援団」が、先日放送されました。
(M)
メキシコから来たペドロさんとアイメさんが参加したおぼけのQちゃん放映された、小麦粉で真っ白になった姿に、お茶の間では笑いが起きたことでしょう。来年はオリンピックが開催されます。世界から豊津に来たい人応援したいです。
(F)

第47号

令和元年7月1日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(広報記録専門部)

# とよつだより



5月11日(土) 元気にリンリンとサイクリング

## 第37回 北浦一周 サイクリング

北浦の浄化を呼びかけて北浦湖畔を一周(最近では半周ですが)する毎年恒例の北浦一周サイクリングが、今年も実施されました。  
まちづくりセンターと豊津小学校子ども会育成会が共催で行う当事業は、今年で三十七回目を迎える伝統ある行事です。親子二代で参加している方々も、多数いることでしょう。  
五十年くらい前は泳ぐことができた北浦。また、そのよ

### サイクリングコースの変遷

最近の記録が分かるものを掲載しました。

平成17年度	第23回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成18年度	第24回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成19年度	第25回	豊津小-鉾田	約70km
平成20年度	第26回	豊津小-鉾田	約70km
平成21年度	第27回	豊津小-鹿行大橋	約50km
平成22年度	第28回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成23年度	第29回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成24年度	第30回	豊津小-鉾田	約70km
平成25年度	第31回	豊津小-鹿行大橋	約50km
平成26年度	第32回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成27年度	第33回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成28年度	第34回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成29年度	第35回	公民館-北浦大橋	約30km
平成30年度	第36回	公民館-北浦大橋	約30km

※平成17年度は雨のためコースを短縮しました。平成23年度は東日本大震災の影響で行方、潮来側は走れませんでした。また、平成23、24年度は9月に実施しております。



和田委員長 あいさつ

豊津地区まちづくり委員会は地区の皆さんのご協力をいただき、現在までソフトボール大会等、沢山の行事を実施してまいりました。  
本年は「いきいき茨城ゆめ国体」、来年は「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催されます。サッカー競技会場となつています鹿嶋市には全国、更には海外からも沢山の人が訪れることが予想されます。市の西の玄関口になる豊津地区においても、おもてなしの心を持ってお客様をお迎えしようといういろいろな企画を練っておりますので、皆さんのご協力・ご参加をよろしくお願いいたします。



### サイクリングコース

- ①豊津地区公民館(開会式)
- ②西の一の鳥居(集合写真)
- ③須賀の辺り(堤防)
- ④北浦大橋
- ⑤白浜少年自然の家(昼食)
- ⑥白鳥の里(集合写真)
- ⑦豊津地区公民館(閉会式)
- ⑧バイク隊(交通安全支援)

スタート



ゴール



⑥



⑧



⑤



**豊津地区の未来を考えよう**

四月二十三日(二〇一九年度豊津地区まちづくり委員会総会を開催し、新年度の委員会の体制、事業計画、予算等を決定しました。

今年度の新規事業の一つとして『豊津の未来を考える』を計画しています。豊津地区は、住民の減少や、少子高齢化が他地区に先立って進んでいくことが懸念されています。地区住民として、どう対処すべきか考える場づくりをしてみたいです。

先ずは、市の出前講座等を活用した勉強会などから始めたいと考えています。具体的に決定しましたら「そよかぜ」でお知らせしますので、ぜひご参加ください。

**つらら会(豊津地区社協)**

令和もよろしくお願ひします

五月十五日支援会議を開催し、事業計画を決定しました。

今年度も、集まった方々とお茶や食事をしながら楽しい時間を過ごす「ふれあいサロン」(地区内に四箇所)、ふれあいクリスマス会、ふれあい遠足などを実施してまいります。

豊津地区の高齢化率は三十八%と鹿嶋市全体の高齢化率三十%より高いものになっています。

皆さん、事業に参加して、健康で長生きしましょう。

高齢者スポーツ大会

六月五日、まちづくりセンターで輪投げ・グラウンドゴルフ・クロックで腕を競い合いました。参加者は二十六人と、多くの方がスポーツを楽しんでいました♪



【競技結果】

- ★輪投げ
  - 一位 荒野 昭さん
  - 二位 小沼ナミさん
  - 三位 坂本好子さん
- ★グラウンドゴルフ
  - 一位 小沼義夫さん
  - 二位 坂本好子さん
  - 三位 秋竹千代さん
- ★クロック
  - 一位 大船津B
  - 二位 大船津A
  - 三位 新田B

今年も熱い戦いが

五月十九日、ト伝の郷運動公園で、ソフトボール大会を開催しました。今年も、六チームが参加し、三チームごとのリーグ戦を行いました。それぞれの一位チームによる決勝戦には、新田と大船津第二区が進出し、両チームとも好守・好打の熱のこもった展開になりました。七回終了時、同点だったため、決着はジャンケンに。結果、五対四で新田チームが平成十八年度以来十三年ぶり三回目の優勝を果たしました。おめでとうございました。(写真・優勝に喜ぶ新田メンバー)



収穫がとても楽しみです

今年も、とよつキッズ「リトルファーム」が始まりました。五月二十五日、暑い日でしたが、みんなが大好きなさつまいもの苗を植えつけました。畝立て、マルチ張り、苗植え、水まきと作業がたくさんありましたが、参加した四十一人の子ども達はみんな頑張りました。収穫は、運動会の頃を予定しています。大きく育ってほしいですね。

(子ども達の感想)  
・暑かったので、つかれた。  
・くわを使うのがむずかしかった。



皆さんもご存知のとおり、今年はいきいき茨城ゆめ国体の開催年です。鹿嶋市では、『共に創り出そう鹿嶋市の火』という事業を行っており、豊津まちづくりセンターでは、この「リトルファーム」に合わせて実施しました。採光・木の摩擦の二通りの方法で『豊津の火』を採火し、その後、トーチに火を移し、子ども会毎にまちづくりセンターから一の鳥居まで、炬火リレーを行いました。 ※「炬火(きよか)」とは、オリンピックでいう「聖火」。 団体の場合は、「炬火」と呼びます。

<豊津の火！>



かるためぐりシリーズ②

厄払い 村人守る 新田かぐら



新田かぐら 村人守る 厄払い

新田神楽は、鹿嶋市大字大船津の新田地区に伝わる神楽です。その昔、鹿島神宮境内にあった涼泉寺という寺が火災にあい、ここに保存されていた獅子だけが難を逃れ、その獅子と鹿島神宮に伝わる巫女舞を大船津新田地区に移したものが新田神楽の始まりだと伝えられています。

新田神楽は、一月下旬の村祈祷の際に地区の各戸を回って家内安全・五穀豊穡を祈願してまわるほか、十二年に一度行われる鹿島神宮の大祭「御船祭」に、一番先頭に立ち、悪魔祓いをして御座船を守り導く役割を担っていました。四種類の獅子舞(乱獅子、下りは、昇殿、幣の舞)と笛と太鼓そして神楽歌から成り立っています。近年継承者が少なくなり途絶えてしまいました。

新田神楽歌

天下泰平 五穀成就のその為に 舞はさせ給えよ 御神楽を 神楽と書いたる 二文字は 神たのしむと 読むと書く 神も喜ぶ事なれば 悪魔降伏 来たらじと 舞わらせ給えよ 伊勢神楽 村内安全 坪内安穩 御家益々御繁昌よとおう 納さん以て太平楽よと改まる (鹿嶋デジタル博物館から引用)

今年度の区長を紹介します 1年間よろしくお願ひします。



(前列左から)

- ・海老沢 文男 大船津第3区長
- ・仙波 一郎 大船津第1区長

(後列左から)

- ・小沼 和則 爪木区長
- ・本宮 貞夫 大船津第2区長
- ・大川 悟 大船津新田区長

子育て支援 とよつだより応援隊

五月十六日、豊津まちづくりセンターにおいて、親子がコミュニケーションを楽しむ「親子リトミック」を実施しました。

(講師 谷藤祥子 先生 長原悦子 先生)

今回は四組の親子が参加し、親子で触れ合い、心の絆を育みました。全四回開催の予定です。

次回第二回目のリトミックは、七月十八日(木)です。楽しみですね!



たくさん実ってね

小学生が田んぼ体験

五月七日、豊津小学校の五・六年生と先生、豊津地区まちづくり委員会、公民館、学校支援ボランティアの皆さんと一緒に大船津の田んぼで「田植え」をしました。

裸足で水温む田んぼに入り、土の感触を素足で感じながら、早苗をみんなで列になって間隔を見ながら、一生懸命植えてくれました。その姿に、私たちも心打たれました。

そして、月日が経ち、秋の収穫の季節を迎える頃、自分が植えた苗が大きくなって、黄金色に実った稲穂をながめながら、稲刈りをするのも楽しみです。



やがて将来、子どもたちが大きくなって、美しい田園風景をながめた時、この裸足になつての田植え体験や稲刈りなど思い出していただけたら幸いです。

(文・圃場協力者 高安広子さん)

★児童感想★

・はじめて田んぼに入りました。足が思うように動かなかつたけど、楽しかったです。

(五年 松本小幸さん)

・田んぼに入ったら泥が温かかったです。頑張つて植えました。稲刈りが楽しみです。

(六年 宮崎湧さん)



きれいな豊津を目指し

豊津地区では、市主催の市内環境美化運動(一斉清掃)とは別に、豊津独自で「豊津クリーン」を行っています。一回目は、五月十二日に行い、各地区で回収されたゴミはまちづくりセンターに集められました。道路沿いの缶やペットボトルなどのポイ捨ては昔より減ってきているものの、今回も四十二袋にもなりました。

次回は、八月四日(日)に実施予定です。多くの方のご参加・ご協力をお願いします。



(上) 集められたゴミ、(中) 大船津第三区の様子、(下) 大船津第一区の様子

◆◆つぶやき◆◆

五月一日に元号が『平成』から『令和』に変わりましたが、「とよつだより」は平成からの発行番号を引き続いて使います。

豊津地区まちづくり委員会が発足し、地区主体のまちづくりセンターとなった平成十六年六月一日に第一号を発行して以来、委員会活動を報告し続け、来年度には五十号を数えます。読み易い紙面づくりに今後も努めてまいりますので、引き続きのご愛読よろしくお願ひいたします。(広報記録専門部員一同)



第 4 8 号

令和元年11月15日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(広報記録専門部)

# とよつだより

## 運動会 令和もつなぐよ 地域の輪

豊津小6年 立野美紅さんの作品

### 豊津ふれあい運動会を終えて

大会長  
(豊津小学校長) 平賀 康意



14回目を数える豊津ふれあい運動会が、多数のご来賓を迎え、盛大に挙行できましたこと、ご協力いただいた保護者、地域の皆様  
に感謝申し上げます。

今回は、台風の影響で順延を余儀なくされましたが、多くの方に支えられ、本校児童も地域の方々も楽しく活動することができました。午後からの種目は降雨により体育館での開催となり、一部種目ができませんでした。この豊津地区の運動会が、今後も学校と地域のふれあいの場として、末永く続いていく素晴らしい行事であることを再確認することができました。

### 元気をもらえて、皆さんに感謝！

副大会長  
(まちづくり委員長) 和田 勉



待ちに待った豊津ふれあい運動会は、台風19号の影響で実施が危ぶまれましたが、順延という形で実施することができました。

当日は、午後から雨の可能性があるにもかかわらず、校庭を埋め尽くす多くの参加をいただきました。競技の中で子どもたちは、練習の成果を一生懸命披露してくれました。私は、子どもたちからたくさんの元気をもらいました。

開催に向けて段取りをしていただいた役員、参加された皆様に感謝申し上げます。

豊津地区の一大イベントである『豊津ふれあい運動会』は、台風十九号の影響により、当初予定から二日順延して十月十四日に開催しました。いつも通り、午前中は小学生の種目を中心に、午後は地域のふれあいの場として実施する予定でしたが、お昼前に降り出した雨が強かったため、午前プログラムの終了した時点で、体育館へ会場を変更。体育館の中でできる種目を選び、子どもたちや地域の方たちと笑顔でふれあう時間を過ごしました。

なお、注目の区対抗は、最終種目のリレーが不成立でしたが、役員の協議により、玉入れと綱引き2種目の点数で決定し、新田区が優勝となりました。

### チーム一丸となって頑張りました！

(写真右)  
玉入れの部 優勝  
爪木Bチーム ⇨

(写真下)  
綱引きの部 優勝  
新田チーム ↓



# 運動会フレイバック



▲今年のクイズチャンピオンは、豊津小6年の浅間菜々美さんでした。おめでとうございます。



▲空に届くような元気いっぱいの開会のことば。良くできました！パチパチ



▲いざ勝負！豊津の秋の陣。今年も白熱した戦いでした。  
▼組体操2019。かなり練習したのでしょうね。見事な出来栄でした。



各チーム、この時はまだ自信満々。堂々たる入場行進です。



◎お腹を抱えて笑ってしまうシーン、思わずホッコリするようなシーン、頑張りに拍手したくなるシーン等々、いろいろありました。多くの方の参加、ありがとうございました。



# とよつだより

## 田んぼ体験

☆九月三日(火) 稲刈り☆

五月に豊津小の児童たちが自分たちで植えた水稲が実り、稲刈りを体験しました。参加者は二十九人(その内五・六年生が十九人、地域協力者が四人)でした。始めに、協力者の前館長・高安さんから、稲刈りについての諸注意がありました。子ども達は、注意を守りながら、楽しそうに稲を刈り取り、昔ながらのおだかけをしました。

おだに掛けられた黄金色に実った稲穂は、きつと美味しいお米になることでしょう。

慣れない手作業での稲刈りは大変だったでしょうが、日本人の主食お米のありがたさについて、実感できた一日になりました。

※おだかけ  
稲などの穀物や野菜を刈り取った後に束ねて天日に干せるよう、木材や竹などで柱を作り、横木を何本か掛けて作ったもの。茨城や千葉ではおだと呼ばれている。



## ホテル学習会・見学会

今年もきれいなホテルの光を求め、七月六日(土)の夜、とよつキッズが流れ川を散策しました。

驚いたことに、去年より沢山のホテルを見ることもできました。ホテルは飛んで手の上にも乗ってくれ、みんな歓声をあげていました。

豊津の自然環境が改善されているのが実感でき、参加者は、貴重な体験ができました。(参加人数は八十八人と大勢でした!)

## 移動教室 七月二十四日

JAXA筑波宇宙センターと国土地理院に行ってきました。

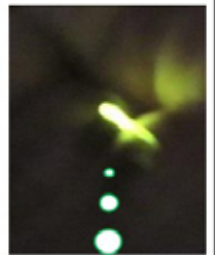
JAXAの宇宙センターでは実物大模型の「はやぶさ」や国際宇宙ステーションを見学、国土地理院では地図記号のクイズラリーを楽しみ、子ども達は興味津々に宇宙体験をしていました。(参加者 子ども十三人・大人九人)

## リトルファーム(収穫祭)十月二十日(日)

初夏に、公民館の駐車場脇の畑に植えたさつま芋が立派に育ち、収穫祭を行いました。

秋も深まり、めっきり涼しい季節となりましたが、収穫祭には、豊津小の児童や保護者が多数出席し、賑やかなものとなりました。掘り起こしたさつま芋は、さつま芋ごはんや、さつま芋汁に料理され、参加者のお腹に納まりました。

皆さん、美味しい料理を堪能し、幸せなひと時を過ごしました。(参加人数は六十一人)



かるためぐりシリーズ②  
夫婦の守護神 比咩宮  
開運を願う爪木の 二十三夜尊



め 夫婦の守護神 比咩宮



を 開運を願う爪木の二十三夜尊

爪木の熊野神社の脇に鎮座する比咩宮の祭神・菊理比咩神(くくりひめのかみ)は、熊野神社の祭神・伊邪那美神(いざなみのかみ)と、夫神の伊邪那岐神(いざなぎのかみ)との調和助言をした神として崇められ、『縁結びの神』とされています。一方、二十三夜尊は爪木北側の森の中にあり、水神宮の鳥居をくぐり、正面右に祀られている。二十三夜尊の神様は月読みの神で、仏様は勢至(せいし)菩薩。子育てや子授けの神として崇められる。勢至菩薩は、阿弥陀如来、観音菩薩と一緒に阿弥陀三尊として祀られることが多く、二十三夜に勢至菩薩を拝めば、迷いや苦しみから救われるとされる。

晩婚化・少子化の現代、縁結びや子授けにご縁がある爪木の社に多くの若者が参詣し、ご利益を受けてほしいですね。



▲比咩宮(左)と二十三夜尊(右)

### 豊津ハイキング

九月十五日(日)  
参加者二十一人

昨年引き続き、今年も高尾山に登りました。今まで何度か高尾山を登山していますが、それまでのコースはケーブルカーを使って登り、歩きで下山するというものでした。しかし、今回は歩いて登り、帰りをケーブルカーで下りてくるという初の逆コース。登山ですから基本は登るものなのでしょうが、登り易いと言われていた高尾山とはいえ、運動不足の身には結構きつかったです。

でも全員山頂まで登り切り、汗にまみれながらも、満面の笑みを浮かべていました。



### 敬老会

9月14日(土)

於：新仲家



令和初の敬老会が開催されました。大正・昭和・平成・令和の四元号を経験された十三人を含む、七十五歳以上のご高齢者二百五十三人が今年度敬老会の対象者です。

新対象者は四人で、その他節目の年を迎えた方々は、喜寿の方が十一人、米寿の方が十人、白寿の方が一人いらっしゃいました。皆さん、おめでとございます。

### 豊津の未来を考える

第1回は『福祉』について

今年度の新規事業として企画した「豊津の未来を考える」。第一回目の集まりを、七月三十一日(水)に開きました。

市平均よりも少子高齢化が進んでいる豊津地区において、喫緊の課題である『福祉』を最初のテーマとして取り上げました。

地区社協(うらら会)と共同で開催し、市介護長寿課、市社会福祉協議会の職員にも協力をいただき、共助(地域での助け合い)について考えました。

市介護長寿課の岡本さんの指導の下、参加者が四班に分かれ、それぞれの班をひとつの小さな村に見立て、その村の中でお互いにどんな助け合いができるか、ゲーム形式でシミュレーションしました。

自分が困っていること、助けてもらいたい事は何か。逆に他人の困っている事で助けられるものはあるのか。短い時間ではありましたが、村の中で共助の関係が生まれることを体験しました。これを実際の地域でも実践できるようなるといいですね。

次回は、『稲作』について年末頃に開催する予定です。



### オリンピック開催1年前イベント

2019 KASHIMA

文化交流フェスティバル

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催まであと一年。みんなの力を合わせてオリンピックを成功させようと、七月二十八日(日)、まちづくり市民センターで「文化交流フェスティバル」が開催されました。

豊津まちづくり委員会は、オリンピックを楽しむ市民の会の一員として参加。ブラインドサッカーや車椅子バスケットの体験と、豊津地区魅力写真パンフレットプレゼントのコーナーを受け持ちました。

朝のうちは雨、止んだ後は蒸し暑い中、冷房の効かない体育館での実施でしたが、多くの方が参加してくれました。

みんな  
でオリ  
ンピックを  
盛り上げ  
ましょう



### 「とよつだより」を書いてみませんか?

いつも「とよつだより」をご愛読下さり、ありがとうございます。

この広報紙は、豊津まちづくり委員会広報記録部の四名で作成しています。仕事をしながら、空いた時間に文書や写真をワードに打ち込んでいます。ワードを使っていますが、普通に文書作成ができる人なら誰でもできます。

読むだけでは満足できなくて、書いてみたいという方、大々募集中です。希望する方は、豊津まちづくりセンター黒須主事までご連絡下さい。

# とよつだより

第 4 9 号

令和 2 年 3 月 1 日 発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(広報記録専門部)

新 春

第十五回

とよつかるた大会

令和二年一月二十六日、令和初のとよつかるた大会が開催されました。

幼児の部三人、小学生低学年の部四人、中学年の部十二人、高学年の部十人、一般の部九人、シニアの部五人の計四十三人が参加し、賑やかにかるた取りと餅つきを楽しみました。

かるた取りでは、低学年の部と一般の部で一位が同枚数になり優勝決定戦が行われるなど、白熱した大会となりました。

餅つきは、最近家庭では経験できない杵と臼で行いました。子どもたちは一生懸命に杵を振り下ろし、だんだんとお餅になっていく様子を興味深げに見入っていました。

参加していただいた皆さん、ありがとうございました。今年の他の行事にも引き続きご参加よろしくお願います。最後になりますが、毎回事業を裏で支えている皆さん、今回も大変お疲れ様でした。



餅つき



準備



かるた取り



開会式



花餅飾り

# 優勝者紹介

かるた大会

幼児の部



山口 奏空ちゃん  
(そら)

がんばりました!



一般の部



山町 浩信 さん

この日のために1年間練習してきました。明日から来年に向け練習します。

シニアの部



君和田 美智子さん

今年も風邪をひかずに参加できて、うれしかったです。

## 小学生部門

低学年の部



君和田 琴ちゃん  
(こと)

うれしいです。



中学年の部



山町 彩奈さん  
(さな)

今年も勝って良かったです。



高学年の部



君和田 梨音さん  
(りお)

優勝できると思っていなかったの、うれしいです。



## うらら会(地区社協)クリスマス会

二月十三日開催 (六十五名参加)

今年も楽しい『クリスマス会』が開催されました。午前中はウエルポート鹿嶋の郷の職員から講義を受け、続いて大船津保育園児の可愛いお遊戯が披露されました。一生懸命に踊る園児たちに参加者は皆とても癒されました。♪

そして、豪華で美味しいお昼の後、豊津小学校児童から合唱のプレゼント。子どもたちの美声に聞きほれていました。最後は、みんな一緒にゲームをして楽しみました。

イベントの多い、とても楽しい一日を過ごした素敵なクリスマス会になりました。今後も「うらら会」の企画が楽しみです。



## 今年も健康のために歩こう!

今年度の新春レッツウォーキングは、一月十一日に「橋めぐり」をテーマとして行いました。【参加者十名】

今回の「橋めぐり」では、(左側写真上から順に) 神野橋・御園生(みそのお)橋・春内(はるうち)橋・下塙橋・宮中大橋の五つを渡りましたが、皆さん、どこにあるかご存じですか? 今回、市スポーツ推進委員連絡協議会の大会会長が参加して下さい、橋や道路などの説明があり、参加者からは「普段何気なく通っているが、今度からは意識して通るようにします」との声も聞かれました。



# 第24回 とよつまつり

## 晴天に恵まれて 賑やかに開催

十一月十七日、第二十四回を数える「とよつまつり」を開催しました。会議室や通路には、各種プロ顔負けのような力作や子どもたちの微笑ましい作品が所狭しと展示され、素晴らしい作品に感嘆の声が聞かれました。また、図書コーナーでは午後から「芸能発表会」が行われ、多くの拍手が響き渡っていました。

館外では、模擬店やフリーマーケットなどが開かれ、野菜や花、食べ物が入ったビニール袋を両手にぶら下げる姿や目当ての食べ物を購入して美味しそうに頬張る姿、お友達と話し込む姿などが多く見られました。また、クロックエー場では紙芝居も開かれ、お天気も良かったことから、多くの子どもたちが楽しそうにお話を聞いていました。

最後は、恒例のお楽しみ抽選会。一つひとつ当選番号が読み上げられるとともに、喜びの声と大きなため息が館内に響き渡り、今年度の「とよつまつり」は幕を閉じました。

実行委員として参加された皆さん、そして協力をいただいた皆さん、ありがとうございます。また、遊びに来てくれた皆さん、ありがとうございます。

なお、今回の「とよつまつり」の本部テントに台風被災地への義援金の箱を設置したところ、多くの方に温かいご賛同をいただきました。後日、売上金の一部も合わせ、茨城新聞社鹿嶋支社を通じて、被災された皆様へお送りしましたのでご報告いたします。  
(そよかぜ第十六号で既報)



▲今年のわらアートは『ドラえもん』。その下は一昨年の『トトロ』と昨年の『ネコパス』。わらアートクラブの皆さん、いつも楽しませてくれてありがとうございます。

【写真説明】①賑やかな会場風景②今年も好評だった「豊津の八百屋」③輪投げに夢中④楽しかった紙芝居⑤今年も活躍のお餅スタースターズ⑥力作が勢揃いの作品展⑦美しい音色の大正琴⑧豊津小児童の合唱⑨三味線に大きな拍手⑩懐かしのメロデー⑪軽やかなダンス



地域点検・防災避難訓練

【避難訓練】 十二月十九日※児童と地域住民十名参加 洪水災害を想定し、豊津小学校と地域が連携しての避難訓練を計画しましたが、あいにくの雨で鹿野中への移動訓練は中止（一月十六日に学校だけで実施）となり、小学校で震ヶ浦工事事務所長の講演を聞きました。

豊津地区も過去には、大きな洪水被害を受けたことがあります。現在は強固な堤防ができたおかげでそのような心配がなくなりましたが、今まで経験したことのない自然災害が続く昨今、どのようなことが起きるかわかりません。日頃から災害についての備えを万全にし、避難経路も実際に歩いて確認し、自分の命は自分で守る行動を心がけてください。

【地域点検】 十月三十日

豊津小学校の下校時に、児童と一緒に歩いて地域の危険箇所や災害時の避難経路について点検しました。

地区を歩いてみて、廃墟化した住宅や倒れそうで危険なブロック塀と樹木に気がつきました。今回の点検で見つけた危険箇所については、改善を要望していきます。



▲ 神楽のおぼの神楽で（提供：昭和50年）

第16号（H20.3.1）から続いた「かるためぐりシリーズ」は今回で終了します。

鹿島町史などによると、新田では、一月二十四日に若衆が笛、太鼓のお囃子をしながら、雌雄の神楽を舞い、村内を戸別訪問して家内安全のお札を配ったとある。一種の「村祈禱」だ。村祈禱は、村人の一年間の無病息災を願って念仏をあげる新年祈禱の行事であり、老女たちが大数珠を持って集落内の各戸を訪問して念仏をあげたり、お寺に集まって太鼓を中心に念仏を唱えながら大数珠を順送りしたりと、地区により内容が異なる。新田地区でも、かつては絵札にあるような大数珠を使つての村祈禱が行われていたと思われる。



ひ 煩悩沈めん 老婆たち



わ 若衆が 各戸に俵せ 村祈禱

「豊津の未来」を真剣に考えました

十二月十三日、今年度二回目のテーマは、豊津ならではの『農業×田んぼ』でした。市役所と市農業公社から講師を招き、豊津地区の稲作について、農地中間管理事業についてのお話を伺い、現状の課題や要望、個人的な考えなど、ざっくばらんに意見や感想の交換をしました。

《主な声》  
・先祖からの土地を荒らさないように、これからも維持（草刈・水管理）していきたい。  
・若手を育てるため、子どもに教えている。  
・農地中間管理制度はあるが、条件の悪いところは借りてもらえない。  
・湖岸南部（土地改良区）の区画は奥行きが五〇メートルのため、借りる人が二の足を踏む。  
・暗渠排水が効かないので、米以外作れない。  
・湖岸南部の用水を、蛇口にしてほしい。

農地の条件が悪い。農地を荒らしたくないが、維持管理に費用と手間がかかる。お米が安くて困る。など、農家を取り巻く環境も厳しいものがあります。が、豊津のイメージである、美しい田園風景をずっと維持していきたいですね。

◆つばやき◆

昨年五月に年号が「平成」から「令和」に変わり、今年には西暦も二〇二〇年と次のデイクイッド（十年間）に入りました。何か新しいことが起こる、そんな予感を感じさせてくれます。特に今年にはオリンピックイヤー。しかも地元カシマサッカースタジアムが男女サッカー会場となり、五十六年前と比べ、すごく身近にオリンピックを感じます。（もつとも当時私はまだそれがわかる年齢ではありませんでしたが）  
鹿嶋の西の玄関口「豊津」でも、何かレガシー（遺産・後に残るもの）を残したいですね。（H）



第50号

令和2年7月1日 発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより

今年度も活動開始しました  
とよつだよりしくお願ひします

四月十六日、豊津地区まちづくり委員会の令和二年度総会を開催しました。

例年ですと、新しい区長・副区長や町代(常会長)、地域実践家など多くの方々が集まり、前年度の事業報告や決算報告、今年度の事業計画(案)と予算(案)などを審議するところですが、密室・密集・密接の『三密』を回避するため、緊急特例的に前年度の役員で実施しました。

その結果、すべての報告・議案を承認、可決していただきました。また、専門部の名称変更も議案としてあがり、「スポーツ健康づくり専門部」が「健康づくり専門部」に、「広報記録専門部」が「情報発信専門部」に変更されました。

総会開催時点で、具体的な事業の内容・日程が全く決まらない状況でしたが、一日も早く平時に戻り、これまでのようにみんなで楽しく豊津地区の活性化が図られることを願ってやみません。

どうぞ、今年度も地域活動にご理解ご協力をお願いします。



## 新型コロナウイルスに負けるな

豊津地区まちづくり委員会委員長 和田 勉

皆さん、こんにちは。お変わりありませんか？新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度のまちづくり委員会事業も大幅な変更を余儀なくされています。

そのような中、大阪府知事が七月からワクチンの治験を行うと発表。国もワクチン開発、備蓄、接種を進めていくとの報道がされました。私たちは、根本的解決をするには『元を絶たなきや駄目』と教えられました。これが、その挑戦、そして新型コロナウイルスとの共生の始まりになると期待しています。

私たち一人ひとりの行動自粛で、新型コロナウイルスの感染まん延を抑えてきました。コロナ禍が収束し、一日も早く皆さんと地域活動が再開できることを願っています。そして、来年にはここ鹿嶋で東京オリンピックのサッカー観戦者を、温かくお迎えしましょう。

## 今年度もよろしくお願ひします

豊津まちづくりセンター長 沢畑 好一

日頃より公民館及びまちづくり事業にご協力いただきありがとうございます。今年度も、地域の活性化を目標に掲げ、各事業が有意義に進められるように、各専門部と協力して新たな事業を計画し、皆さんのサポートに努めてまいります。なお、3月末で退職した藤城主事に代わり、6月から新たに石田主事が加わりましたので、これまで同様、どうぞよろしくお願ひします。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、しばらくの間はこれまで通りに施設利用をおこなうことができませんが、おかけすることになりませんが、何卒ご理解ご協力をお願いします。



▲ 本年度の職員(左から)  
(後) 笹本・遠藤・大川  
(前) 石田・沢畑・黒須

令和2年度 まちづくり委員会事業

<b>&lt; 委員会 &gt;</b>	<b>&lt; 地域環境専門部 &gt;</b>
★役員会・・・随時	* 豊津クリーン・・・2回(5月・8月)
★環境美化運動(花壇整備)・・・6月13日(土)	* 地域安全点検・・・2回
★とよつまつり・・・11月8日(日)	* 環境石けん作り・・・6月13日(土)
★豊津の未来を考える・・・3回程度	<b>&lt; 健康づくり専門部 &gt;</b>
★防災避難訓練・・・豊津小と合同訓練	○北浦一周サイクリング(育成会と共催)・・・未定
★コミュニティプラン作り	○豊津ハイキング・・・未定
<b>&lt; 文化福祉専門部 &gt;</b>	○高齢者スポーツ大会・・・6月23日(火)
◇とよつキッズ(リトルファーム収穫祭)・・・ スイカの収穫・イベント 8月予定	○ソフトボール大会・・・7月24日(金・祝) ト伝の郷運動公園
◇とよつキッズ(ホテル見学)・・・7月(各自)	○ソフトバレーボール大会・・・未定
◇とよつキッズ(移動教室)・・・8月12日予定	○高齢者教室(健康講座・移動教室)・・・未定
◇たんぼ体験・・・稲刈り(豊津小と共催)	○レッツウォーキング・・・未定
◇とよつかるた大会・・・1月	○健康教室・・・未定
◇楽学セミナー・・・未定	○豊津ふれあい運動会・・・10月
◇豊津デジカメ・・・年数回の写真展	<b>&lt; 情報発信専門部 &gt;</b>
◇男の料理教室・・・移動研修など	♪「とよつだより」の発行・・・年3回
	♪かわら版「そよかぜ」の発行・・・随時

\*上記の事業は、年度当初の総会資料から転記したものです。 \*日程等は6月13日現在の判断  
 \*新型コロナウイルス感染症の影響により、市の事業や学校の行事予定が例年と変わっています。その関連で、今後もまちづくり委員会事業の変更もありえますので、ご了承ください。  
 \*事業の実施が決定しましたら、かわら版「そよかぜ」で、随時、案内をしていきます。その際は多くの方のご参加をお願いします!

今年度の区長をご紹介します

(写真後列・左から)

- 大船津第1区 濱田善久さん
- 大船津第3区 坂本次雄さん
- 大船津新田区 宮崎比呂志さん

(写真前列・左から)

- 爪木区 小沼信夫さん
- 大船津第2区 青野重寿さん



皆さん、1年間どうぞよろしくお願いします。

平成十六年度に第一号を発行してから、今号が一区切りとなる第五〇号となります。

記念コラムを予定していましたが、全国的に新型コロナウイルス感染症拡大予防の徹底がされ、各種事業が実施できなかつたことから、通常の半分の紙面とし、コラムも割愛しました。

コロナ禍が収束し事業再開となれば、次号から更に紙面を充実させて皆さんにお伝えします。

ので、ご期待ください。

**第五〇号発行**

今年度二つの専門部の名称が変更になりました。

これまでの「スポーツ健康づくり専門部」は、地域の高齢化に伴い、スポーツ性から健康を主眼とした健康づくりに移行している現状から、「健康づくり専門部」へ。

また「広報記録専門部」は、地域の広報紙「とよつだより」以外に、フェイスブックやツイッタ―等インターネットを活用した電子媒体でも情報発信を行っていること、より実態に近いイメージのある「情報発信専門部」へそれぞれ名称を変更しました。

今後ますます内容を充実するための名称変更です。皆さん引き続きよろしく願います。

令和二年度から  
健康づくり・  
情報発信専門部へ

第51号

令和2年11月15日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより

▼まだ出発したばかりなので、みんな余裕の笑顔です！



みんなで元気にサイクリング  
秋の北浦もさわやかでした！

10/24

(参加者の声)  
★初めて参加したけど、楽しかった。  
▼二年生・今泉和士(かずし)くん  
★腰が痛かった。  
▼五年生・海老沢奏来(そら)くん  
★みんなまで走って楽しかったです。  
▼三年生・君和田蓮(れん)くん  
★皆さんの協力で安全に実施でき、ありがとうございました。楽しかったので、ぜひ次回も参加したいです。  
▼育成会役員・今泉知香さん



▲頑張って隊列を引っ張りました



▲今年も参上！とよつバイク隊  
(右端は校長先生です)



▲昼食場所として行方市の「白浜ウォーキングセンター」をお借りしました。快くお貸いただきありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染状況も落ちているということから、例年五月に実施している「北浦一周サイクリング」(共催・豊津子ども会育成会)を、十月二十四日に実施しました。  
待ちに待っていたサイクリングということで、参加した十九人の子どもたちは大喜び。元氣良くペダルを踏み続け、約四十キロのコースを仲良く完走しました。(小学校の先生方の参加も含め、総参加者五十人)霞ヶ浦(北浦)の水質浄化を目的に実施しているこの事業も、今回で数えること、三十八回。ぜひ絶やすことなく、次の代にもつなげていくてほしいと思います。  
運動不足の解消にも最適なサイクリング、来年度も多くの参加をお待ちしています。(一般の方、大歓迎です)



▲北浦大橋を目指して順調に。気分爽快！  
▼この標語を、みんな忘れないでね！



▲(上) 絶好のサイクリング日和で気分はアゲアゲ？  
(下) 北浦大橋を無事通過！

# 創ろう！ 豊津の明るい未来！！

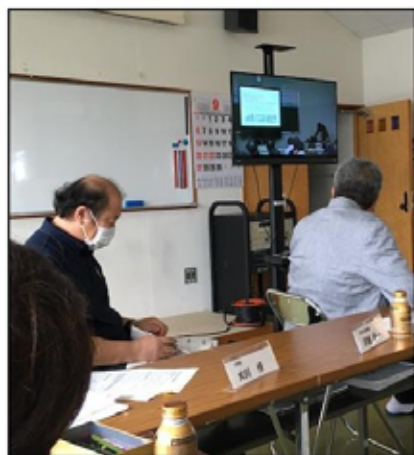
## 地域コミュニティプラン作成へ

昨年度、「豊津の未来を考える」と題したまちづくり事業を行い、福祉と農業について地域の皆さんと考えました。

また、市全体でも中央公民館主催で、まちづくり研修会と3回のまちづくり講座として、常磐大学総合政策学部の砂金祐年(いさごさちとし)教授と佐々木一如(ささき かずゆき)准教授を招き、コミュニティプランの策定について研修や実習を行いました。これを受け、今年度は豊津地区を始めとする市内十のまちづくり委員会単位で、コミュニティプランを作成しています。

『コミュニティプラン』とは、地域が主体となった地域コミュニティ活動の推進に向けた指針として、地域の将来像や課題、その解決に向けた具体的な活動などをまとめた計画です。作成する意義として、「地域の課題共有」「国・自治体で対応できないもので地域が協力してできること、地域独自でできることを振り分ける」「プラン作成過程におけるソーシャルキャピタル(地域の絆)の形成」などが挙げられます。

豊津地区は、ご承知のとおり市内まちづくり委員会の区域では最小の地区です。市が作成する計画は市全体が対象となるため、豊津地区があまり該当しないこともあり、また、独自の計画が必要となってきます。



### 第一回会議内容

九月二十七日

最初に事務局から、地域コミュニティプラン作成事業についての概要説明がありました。

続いて、昨年度まちづくり講座で常磐大学砂金教授が行った講演を撮影したDVDを視聴しました。内容は、コミュニティプラン策定の意義について。

この後、コミュニティプランの作成について、委員間で意見交換を行いました。その結果、既に昨年度の研修を受けた方々が一定の課題を整理し、地区の将来像、それを達成するための活動方針についてまとめていくことから、それを基にしてコミュニティプランを作成していくことが確認されました。

十月十日までに、各団体でこの内容を基に課題等を整理し、事務局へ提出してまいります。

### 今後の予定

- ・作成期間 令和二年度末まで(プランの事業は以降も継続実施)
  - ・まちづくり講座 リモート形式での常磐大学先生方との事業調整
  - ・お示しできる内容は随時公表いたします。
- 十月二十五日 十二月六日

No.	氏名	所属団体等
1	和田 勉	まちづくり委員会
2	海老沢 良政	まちづくり委員会
3	宮崎 比呂志	大船津新田区長
4	濱田 善久	大船津第一区長
5	青野 重寿	大船津第二区長
6	坂本 次雄	大船津第三区長
7	小沼 信夫	爪木区長
8	高安 広子	うらら会会長 (地区社協)
9	内田 博道	おおふなつ自警団
10	山町 浩信	豊津小PTA会長
11	伊原 健市	消防団
12	藤枝 英夫	市役所協力職員
13	桐生 進一	市役所協力職員
14	君和田 浩幸	市役所協力職員
15	沢畑 好一	公民館長
リーダー・・・和田 勉 サブリーダー・・・海老沢 良政 ※ご提案等ありましたら、上記団体代表者か事務局(豊津まちづくりセンター 大川・黒須)までお願いします。		

## 参考資料

## 『地域コミュニティに関するアンケート調査』結果について

中央公民館が、コミュニティに関する意識等の調査を今年7月23日から8月15日にかけて、20歳以上の市内在住者（無作為抽出した3,000人）に対し行った結果の豊津地区分（抜粋）です。（回答率38.5%）

- 1 あなたは、お住いの地域（小学校区）に愛着がありますか。

愛着がある	どちらかという と愛着がある	どちらかという と愛着はない	愛着はない	わからない	無回答
24	13	6	1	3	5

- 2 あなたが住む地域（小学校区）では、地域活動が活発に行われていると思いますか？（複数回答）

	活発に行わ れている	どちらかという と活発に行われている	どちらかという と活発ではない	活発では ない	わから ない
学習の機会づくり	8	17	3	1	19
親睦・交流事業	14	19	5	1	10
お祭り・伝統事業	19	21	4	1	6
防災	6	18	9	2	14
防犯・交通安全	9	23	4	3	10
高齢者福祉	7	21	6	1	14
子育て支援	3	13	7	2	20
青少年の育成	5	9	11	2	20
環境保全・美化	11	26	3	2	8
健康づくり	7	21	5	1	15
スポーツ活動	8	17	7	1	15

- 3 地域住民が主体となって取り組む地域の活動において、もっとも優先して取り組むべきことは、どんなことだと思いますか？（3つまで回答可）

学習の 機会づ くり	親睦・ 交流事 業	お祭 り・伝 統事業	防 災	防犯・ 交通安 全	高齢 者福 祉	子育 て支 援	青少 年の 育成	環境保 全・美 化	健康 づく り	スポ ーツ 活動
6	14	8	18	20	16	11	4	11	15	4

- 4 あなたの世帯は、自治会に加入していますか？

加入している	加入していない	無回答
38	12	2

- 5 今後、地域の住民が安心して、楽しく地域で暮らしていくために、地域で活動する自治会をはじめとする各種団体が果たす役割は、どのように変化すると思いますか？

大きくなる	どちらかという と大きくなる	どちらかという と小さくなる	小さくなる	わからない	無回答
2	9	19	1	17	4

- 6 お住いの地域をより住みやすくするために、地域活動は大切だと思いますか？

思 う	思わない	どちらでもない	無回答
40	1	8	3

- 7 地域活動に参加しやすくするために必要なことはどのようなことだと思いますか？

地域の情報を提供、共有すること	27
活動の曜日や時間を参加しやすいように設定する	26
インターネット上での参加など、多様な参加方法を用意する	10
祭りや行事の実施と参加の働きかけ	9
活動の内容がマンネリ化しないようにする	10
いったん加入するとしがらみでなかなかやめられないなど、閉鎖的な雰囲気をなくす	18
成果や貢献が具体的に見える活動をする	7
地域内のいろいろな住民組織が連携して一緒に取り組める活動をする	9
参加した人が何らかのメリットを得られるようにする	9
多くの住民が関わることのできるテーマに取り組む	15

★ 結果 ★

- ◎グラウンドゴルフの部
  - 優勝 黒須はるさん
  - 準優勝 高安茂さん
  - 3位 秋竹千代さん
- ◎輪投げの部
  - 優勝 遠藤道子さん
  - 準優勝 君和田つるさん
  - 3位 小沼義夫さん
- ◎クロッケーの部
  - 優勝 大船津Bチーム
  - 準優勝 大船津Aチーム
  - 3位 新田Aチーム

**高齢者スポーツ大会**  
 予定していた六月二十五日からしばらく天候に恵まれず、ようやく七月二十八日に実施することができました。今回は、コロナ禍による外出制限などにより練習量が減っていたとは思いますが、これまで鍛えてきた腕を存分に披露するとともに、三密を意識しながら交流を深めていました。



▲ (左から) グラウンドゴルフ・輪投げ・クロッケー

楽しかった収穫祭

とよつキッズ

新型コロナの感染状況が少し落ち着いた8月8日、リトルファームで育ったスイカを味わい、またスイカ割りをして楽しみました。また、ファームの一部に植えた百日草の摘み取りもし、お土産として持ち帰りました。育成会役員のお父さん特製のカキ氷も大好評でした。おいしかったですね。



霞ヶ浦の水質と浄化について学びました

8月12日、とよつキッズの移動教室を実施しました。今回のテーマは、「湖上体験スクール」。遊覧船に乗って、霞ヶ浦の水質検査を、茨城県霞ヶ浦環境科学センターでは水質浄化の勉強をしました。私たちの大事な水源である霞ヶ浦(北浦)の大切さについて、改めて学びました。



ソフトボール大会は大船津第二区がV

コロナ禍による会場規制が解かれた七月二十四日、恒例のソフトボール大会を実施しました。ステイホーム期間が長くなり、運動不足気味の参加者が多かったようですが、みんな楽しくプレイしました。

決勝は、平均年齢が若干若かった(?)大船津第二区が猛攻を重ね、大船津第一区を下し見事優勝しました。  
 【写真】左上・入場口で厳しい?検温、左下・最優秀選手賞の久保原茂男さん(大船津第二区)右・優勝した大船津第二区のメンバー

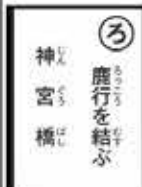


SNSも読んでください

豊津まちづくり委員会活動の情報は、この広報紙以外にSNSでも発信していることは前号でもお知らせしました。フェイスブックやツイッターの他、まちづくり市民センターのホームページにも掲載されています。まだご覧になっていない方もいるかと思いますが、今号からアクセスしやすい様にQRコードを載せました。速報性の高いSNSもどうぞご覧ください。

鹿嶋市郷土カルタから

今年7月鹿嶋市郷土かるた制作実行委員会が新しいカルタを作成しました。全四十五枚の中から豊津に関係するものを紹介します。



- ④ 鹿行を結ぶ 神宮橋
- ⑤ 渡御の先陣務めていくは新田かぐら
- ⑥ 午年は 式年大祭 御船祭
- ⑦ 夕日で 真赤に染まる 北浦湖畔

◆ つぶやき ◆

新型コロナウイルスは、まだまだ収束の見えませんが、感染拡大防止の為にまちづくり委員会も大幅な見直しをしております。暫くはWithコロナの生活が続くでしょう。かつて経験したこの今の異常気象など、かつて経験したことがない現象に遭遇することが近年多くなっています。自然の摂理によるものなのか、人類が自然の背いた報いなのかは分かりませんが、未来の子ども達のため、持続可能な社会に変えていく努力は必要ですね。(F)

第52号

令和3年3月15日 発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより



十一月五日〜八日、「第二十五回とよつまつり」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響から、開催について協議した結果、各種団体の日頃の成果を展示・紹介する作品展のみの開催となりました。

密集・密接を避けるため、模擬店や演芸発表等がなく、館内のほぼ全体が作品展という、例年とは趣の異なるまつりとなりました。訪れた方々は公民館を利用する団体の皆さんや豊津小児童の素晴らしい作品に魅入っていました。会場の雰囲気や作品の一部を紙面でご紹介いたしますので、どうぞご覧ください。

渾身の力を込めた作品がずらりとよつまつり作品展



URL

QRコード Facebook

Facebook(フェイスブック) : <https://www.facebook.com/toyotsumachi>

Twitter(ツイッター) : <https://twitter.com/toyotsumachi>



Twitter







第53号

令和3年7月15日 発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより



<写真上・左から>

- 黒須 均さん (大船津第1区)
- 遠藤 操さん (爪木区)
- 成瀬 隆さん (大船津第2区)

<写真下・左から>

- 内野賢良さん (大船津第3区)
- 名和 茂さん (大船津新田区)

令和三年度  
区長紹介

## リトルファーム

5月29日、とよつキッズ事業の一環として、子どもたちは花(百日草、ひまわり)の苗植え、大人たちは夏野菜(キュウリ、トマト、スイカ)の手入れを行いました。

また、26日には豊津小学校低学年の8人が生活科の事業としてさつま芋の苗植えを行いました。

みんな、この後に咲くきれいな花や収穫した美味しい野菜を思い浮かべていたことでしょう。

引き続き、子どもたちには、登下校時や公民館に遊びに来た時など、野菜や花の生育を観察していただきたいと思います。

参加者31人  
(うち 子ども14人)



### 田植え体験

5月7日、豊津小学校の5・6年生が地域の方の指導を受けながら、田植えをしました。裸足になって自然を感じながら、一生懸命、苗を植えました。美味しいお米が採れるのが、楽しみです。



お願ひします。

まちならぬ時勢です  
が、限られた環境の中  
でも自分たちでできる  
ことを探して進めて  
いきたいと思ひます。

どうぞ、よろしく  
お願ひします。

日頃より、まちづくり事業として公民館活動への御協力ありがとうございます。

公民館に勤務し、四年目を迎えました。これまで地域の皆さんと共に進めてきたまちづくりの事業は、とても貴重な体験でした。選任を過ぎましたが、未だに自分の成長に伸び代があると感ずることができました。

昨年度からのコロナ禍で通常の事業がままならない環境の中、限られた環境の中でも自分たちでできることを探して進めていきたいと思ひます。

どうぞ、よろしくお願ひします。



### 四年目を迎えて

皆さんとの活動が楽しみです

まちづくり委員長 和田 勉

日常生活内の活動がコロナ禍により制限されている中において、五月下旬からワクチン接種が順次実施され、明るい兆しがようやく見えてきました。

今年度は、『ふれあい運動会』や『とよつまつり』が、皆さんと一緒に笑顔で実施できることを非常に楽しみにしています。このような活動が長く止まってしまうと、いざという時の行動が難しくなります。行事等については密を避けて実施しますので、かわら版「そよかぜ」を注視していただき、ご参加くださいますようお願いいたします。



URL

Facebook(フェイスブック):<https://www.facebook.com/toyotsumachi>  
Twitter(ツイッター):<https://twitter.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook



Twitter



# 第39回北浦一周サイクリング



まだ雨が降る前、快調にスイスイと



事業の生みの親 箕輪さん



雨で合羽を羽織る

五月二十二日、朝からの雨で出発を約一時間遅らせ、九時四十分には豊津公民館を出発。一旦は上がった雨が途中で降りだし、気温も低く、肌寒いというコンディションでしたが、参加者全員、無事完走できました。

開会式には、この事業の生みの親である箕輪礼子先生（元・公民館長）が三年振りに参加され、御挨拶をいただきました。近年、サイクリングが主目的になってきていますが、始めは北浦の水質浄化を訴えるための事業だったことを改めて思い出しました。

さて、第三十回の時には、初心に返って銚田市経由の北浦一周をしました。来年は、節目となる第四十回です。久しぶりの『北浦一周』になるかどうか楽しみにしててください。



一の鳥居で安全祈願



< 6年間完走賞 >

浅間 終太さん

大森 陽向さん

★★ つぶやき ★★ 水稲から始めたブチ農場も、芋・落花生と広げ、今回はにんにくに挑戦。スーパーや専門店から購入した大粒・小粒の種を十月末にまき、肥料を二回与え、苦手な草抜きもこなし、生育を見守りました。春の温暖な気候のおかげで生育も早まり、五月中旬には無事、収穫ができました。スーパーで買った大粒の種はまだ良かったのですが、総じて出来はイマイチでした。農業は、土づくりと日頃からの管理が肝要ですね。(H)

- 六月二日 高齢者スポーツ大会
- 入賞者は、次のとおりです。
- ＜グラウンドゴルフ＞
  - 優勝 黒須はるさん
  - 二位 高安茂さん
  - 三位 遠藤喜平さん
  - ＜輪投げ＞
  - 優勝 根本芳子さん
  - 二位 青木春江さん
  - 三位 小沼ナミさん
  - ＜クロッケー＞
  - 優勝 新田A（大川金作さん、大川淑江さん、青野静江さん）
  - 二位 大船津A（荒野昭さん、郡司由一さん、郡司みよ子さん）
  - 三位 新田B（青木金司さん、青木春江さん、大川初江さん）



URL

まちづくり市民センターホームページ（豊津発行物ページ）  
<http://kashimashi.info/kouminkan/page-53/page-133/>

QRコード



第 5 4 号

令和3年12月15日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより



## 遊びの 広 場

### 第26回

## とよつまつり

今年はちょっとにぎやかに



十一月十八〜二十一日の四日間、「第二十六回とよつまつり」を開催しました。

昨年、新型コロナウイルスの影響により、作品展しかできませんでしたが、今年はコロナ禍でも賑わいを取り戻そうと、皆さんのご協力をいただき、屋外での催し物も行いました。

これまでのような模擬店や芸能発表までできませんでしたが、作品展の他に、喫茶コーナー、カレーどんぶりのテイクアウトやシクラメンの販売といった模擬店の復活、子どもたちが集う「遊びの広場」などを企画しました。

喫茶コーナーや「遊びの広場」など屋外の催しは二十日(土)と二十一日(日)に行いましたが、天気にも恵まれてまずまずの人数となりました。

とはいえいつもの、一昨年までと比べると寂しさは否めません。来年こそは、新型コロナが収束し、またいつもの笑顔と会話がふれる「とよつまつり」ができることを切に願います。

### 作品展



### 模 擬 店

URL

Facebook(フェイスブック):<https://www.facebook.com/toyotsumachi>  
Twitter(ツイッター):<https://twitter.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook



Twitter



爪木の 八朔まつり を見学 ～レッツ・ウォーキング～

「8月1日」と言えば『八朔』。今回のレッツ・ウォーキングは、公民館から爪木の熊野神社まで行き、八朔まつりを見学してきました。(参加者10人)

現地では、遠藤喜平さん(写真左)から八朔まつりの概要や、爪木地区内に数多く祀られている神様の話を聞かせてもらいました。その後、すずらん子ども会の児童たち手作りの行灯で彩られた21段の石段を登り、熊野神社をお参りました。



「八朔まつり」は、五穀豊穡を願い、そして祝う行事です。このような行事が子どもたちも一緒になり、地域の年中行事の一つとして定着していることから、爪木地区の皆さんの信仰心が篤いことがあらためてわかりました。

これからも長く続いてほしいですね。



ソフトボール大会 爪木区がV 新田区が準V

延期していたソフトボール大会を、十一月十四日にト伝の郷運動公園で開催しました。今年も五チームの参加となりましたが、清々しい天候の下、日頃のストレス発散も含め、皆さん元気いっぱいプレーし、気持ち良い汗を流しました。結果は爪木区の優勝。皆さん、お疲れ様でした。



三世代で グラウンドゴルフ を楽しみました

10月23日、晴天に恵まれて気持ち良い日差しの中、三世代(四世代?)交流グラウンドゴルフを実施しました。



子どもたちやお父さん・お母さんたちにとっては初めての経験でしたが、日々グラウンドゴルフを楽しんでいる大船津グラウンドゴルフ会の皆さんが先生になり、打ち方や力加減などを丁寧に教わり、徐々にコツをつかんでいきました。おじいちゃんやおばあちゃんたちとの会話も弾み、楽しい時間を過ごすことができました。



▲ 熟練の技を伝授

今年も流川で ホタル を鑑賞しました



7月3日、恒例のホタル見学会を行いました。昨年は、コロナ禍のため、自主的な見学会でしたが、今年度は事業として実施し、総勢で96人の参加がありました。

まず、玄関前でホタルの生態などを学習。その後、大船津公会堂付近の流川に移動し、暗闇に光る「平家ボタル」を探しました。

参加者によると、今年は少なく感じられたようですが、それでも10匹以上を確認し、中には手に乗せてじっくり見た児童もいました。来年もいるといいな!



▲ 出発前にホタルについて簡単に学習



▲ 間近でホタルを確認

津)を維持していききたいですね。豊津の魅力をほめてくれ、嬉しくなり川)の穏やかな水面と一之鳥居など、大掾辺田付近の水田風景や、北浦(鰐)を巡るもの。豊津公民館にトイレ休憩で立ち寄る人もいましたが、口々に発着で、天狗堂の墓や西の一之鳥居などが行われまし。コースは鹿島神宮駅R東日本主催の「駅からハイキング」が発着で、天狗堂の墓や西の一之鳥居などを巡るもの。豊津公民館にトイレ休憩で立ち寄る人もいましたが、口々に大掾辺田付近の水田風景や、北浦(鰐)川)の穏やかな水面と一之鳥居など、豊津の魅力をほめてくれ、嬉しくなり津)を維持していききたいですね。

え合っています。目的に向けて、それが目標を掲げ、できることからやる。何事もそうですが、地域コミュニティ作りも同じ。豊津のみんなが支え合っています。



「公民館を核とした共創のまちづくり」を目標とし、市民の学習と活動を支援する公民館の役割などについて考える地域活動学習会が、十月十七日に開かれました。講師である元茨城大学准教授の長谷川幸介先生(写真右)から、わかりやすく、人間の進化、社会(組織)の転換、そして公民館の役割等の話がありました。人は、血縁・地縁・友縁・職縁と、大きく分けて『四つの縁』で支え合っている、という話には、皆さんうなずいていました。目的に向けて、それが目標を掲げ、できることからやる。何事もそうですが、地域コミュニティ作りも同じ。豊津のみんなが支え合っています。



『支え合いが大事!』を再認識

URL

まちづくり市民センターホームページ(豊津発行物ページ) <http://kashimashi.info/kouminkan/page-53/page-133/>

QRコード



第55号

令和4年3月15日 発行  
 ー 編集・発行 ー  
 豊津地区まちづくり委員会  
 (情報発信専門部)

# とよつだより

## 第十七回 とよつかるた大会

令和四年一月二十三日(日)

新型コロナウイルスの感染が急速に拡大する中での開催となり、当日来る人がいないのではと危惧しましたが、事前の申込み者数を上回る参加をいただき、無事開催できました。

感染予防として、かるた取りだけにし、恒例の餅つきや花餅づくりは、中止にしました。また、皆さんが一番楽しみにしている、お雑煮やあんころ餅などの食事もありませんでした、「のし餅」を参加賞として用意し、自宅で食べていただきました。

昨年は大会そのものが中止だったことから、今年はコロナ禍でも開催できたことに意義があったと思います。役員の皆さん、お疲れさまでした。

参加者

幼児の部	3人	高学年の部	5人
低学年の部	2人	一般の部	10人
中学年の部	3人	シニアの部	4人



三位	二位		中学年の部 優勝
鬼澤由衣さん	今泉和士くん (かずし)		

二位		低学年の部 優勝
君和田心結さん (こころ)		

三位	二位		幼児の部 優勝
今泉輝一くん	浅間琴羽さん (ことば)		

浅間 柚羽 (ゆずは) さん  
感想…楽しかった。

黒須 雄大 (ゆうだい) くん  
感想…良かった。

黒須 敢太 (かんだ) くん  
感想…うれしかった。

三位	二位		シニアの部 優勝
大川 悟さん	高木文江さん		

三位	二位		一般の部 優勝
君和田佑子さん	今泉知香さん		

三位	二位		高学年の部 優勝
浅間柊太くん (しゅうた)	今泉結愛さん (ゆあ)		

高木 清 (きよし) さん  
※表彰式前に帰ってしまったので感想を聞けませんでした、うれしかったと思います。

山町 未来 (みく) さん  
感想…旦那から「必ず勝ってこい！」と言われていたので、勝って良かったです。

山町 彩奈 (さな) さん  
感想…コロナでできないと思ったけど、できて良かったです。

URL

Facebook(フェイスブック) : <https://www.facebook.com/toyotsumachi>  
 Twitter(ツイッター) : <https://twitter.com/toyotsumachi>

QRコード

Facebook



Twitter



## 防災時の対応は“慌てずに！”

## 地域連携も重要

令和3年12月14日、豊津小学校で、児童、教職員や保護者に正・副区長や公民館職員も参加し、地域での「防災合同学習会」が開かれました。学習会では、市交通防災課の職員から災害時の避難行動や心構えなどの講話を聞いた後、段ボールベッドの組立て体験をしました。また、水戸地方気象台の職員からは、台風や大雨から身を守るための対応などの説明を受けました。

災害時などの「いざ」という時、慌てず普段どおりに行動することはなかなかできることはありません。そのためにも、学習や体験は非常に重要です。このような学習機会を継続して設けるようにし、自分自身の安全、そして**地域の安全・安心**を高めていきたいですね。



▲段ボールベッドの組立てに挑戦



▲講師の話に熱心に聞く児童たち

### <参加者の感想>

- ・段ボールベッドの組立てはみんなで協力してできたけど、180キロの重さまで大丈夫だと聞いて驚きました。
- ・今回の防災学習で勉強したことを家族でもう一度話し合っ、災害時に備えたいと思いました。

### 通学路の安全を確認しました

2月24日、児童たちの下校に合わせ、通学路を中心に「地域安全点検」を行いました。この事業は、毎年度、大人・子ども両方の視線から危険の有無を確認し、市に改善の要請を行っているものです。併せて、『**子どもの家110番**』に協力いただいている家庭へお礼の手紙を渡し、引き続きの協力をお願いしました。

また、通学路にはあいさつ標語看板が設置されていますが、その老朽化も目立っています。今月中には新しい看板も立つ予定ですので、どんな標語があるか楽しみにしてください。



### 食事や毎日の習慣 皆さんもチェックしてみては

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、多くのイベントが中止になり、外出する機会も制限される中、生活習慣病の予防や健康意識の高揚を目的に『**健康チャレンジ**』を企画しました。かわら版「そよかぜ」で募集したところ、36人の参加がありました。

チャレンジシートには約20の項目があり、2カ月間、毎日、実施できたかどうかを記録。他の人との比較ではないため、概ね目標を達成できた方が多かったようです。

これをきっかけに健康づくりに関心を持ち、習慣化させることによって**健康寿命**を延ばしていただきたいです。



#### <チェック項目の例>

- ・笑う (免疫機能を担う細胞の活性化に)
- ・あいさつする (コミュニケーションで気分一新)
- ・腸活をする (善玉菌を増やしましょう)
- ・よく噛んで食べる (ストレス緩和や脳の活性化に)
- ・間食を減らす (習慣になりがち。その一口が…)
- ・休肝日 (できれば週休2日。肝機能も休みが必要)
- ・ラジオ体操 (丁寧にやれば、うっすら汗も)
- ・ウォーキング (無理をしない程度に)
- ・体重測定・血圧測定 (日々の健康観察が重要)

☆つぶやき☆  
津小の五年生が環境学習の一環として、一月十八日、豊津地区には、豊かな自然と魅力的な撮影スポットが多くあります。北浦に映える夕日は県内外から多くの人が訪れていますが、美しい環境保全の輪を広げたいです。(ゆ)

まちづくり市民センターホームページ (豊津発行物ページ)

URL <http://kashimashi.info/kouminkan/page-53/page-133/>

QRコード

